

昭島市民図書館 国文学講座

「1742年寛保大洪水後の玉川上水と鮎」 かんぼう あゆ

水は生命の源であり、いつの世も、人々は知恵を巡らせて、自然界に流れる水と関わって生活してきました。

江戸三大洪水の一つとして数えられる寛保大洪水では、大規模な土砂崩れにより多摩川上中流域の自然環境は一変し、鮎の生育環境は悪化しました。多摩川中流域の人々は、どのようにして諸問題に立ち向かったか——。歴史に立ち返ると、今日の環境問題について考えるヒントも少し垣間見えます。

◆日時◆

6月1日(日) 午後2時～4時

◆会場◆

アキシマエンス 講習・研修室
(国際交流教養文化棟 2階)

◆講師◆

渡辺 浩一氏
(国文学研究資料館名誉教授)

◆定員◆

35名(申込順・一般対象)

◆申込◆

5月3日(土・祝)
午前10時より受付開始

市民図書館各カウンター
または電話(042-543-1523)で受付

「主催・問い合わせ」

昭島市民図書館

・東京都昭島市つつじが丘3-3-15

アキシマエンス

・電話 042-543-1523